

2020年10月30日  
パナソニック株式会社  
株式会社小田急百貨店

## パナソニックと小田急百貨店がウィズコロナ時代の移動体験を 支える「安心ゲートソリューション」の実証実験をスタート



パナソニック株式会社(以下、パナソニック)と株式会社小田急百貨店(以下、小田急百貨店)は、人々の安心・安全な外出を可能にする「安心ゲートソリューション」の実証実験を10月30日に開始します。非接触で測温を行いながら除菌ができる「安心ゲート」を小田急百貨店新宿店の出入口3箇所に設置。今後は、施設内の混雑状況データを収集して、来訪者に利用できる場所、時間帯、ルートなどの情報提供を行い、密を回避しながら移動ができる安心・安全な移動体験の実現を目指します。

新宿駅周辺は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い38.5%の来訪者が減少(※1)し、現在もエリア内の経済活動において大きな影響を受けています。一方、消費者の「外出自粛等の解除後にやりたいこと」として「デパートや店舗での買い物」というニーズは27.6%(※2)と高く、ECサイトによる購買体験が普及した現代においても、実店舗におけるリアルな買い物体験が求められています。

パナソニックは、人の生活圏に焦点をあて、人を起点に「移動」のあり方を見つめなおすモビリティソリューションを通じて、人やコミュニティを元気にすることを目指しています。移動や外出に対する不安を感じる人が多い中、混雑度検知や衛生管理などの技術を駆使したソリューションをご提供し、安全な移動を可能にしていきます。

また、小田急百貨店をはじめとした小田急グループでは、本実証の「安心ゲート」で収集した商業施設内の混雑状況に加え、駅構内の混雑情報や列車の混雑予報などを組み合わせて、来訪者に密を回避しながら移動ができる情報をシームレスに提供していくことを目指しています。

こうした社会を目指して、両社が技術やノウハウ、フィールドを持ち寄ることで、今回の実証実験に至りました。ウィズコロナ時代の安心・安全な移動を、街インフラで支えるソリューションの社会実装を目指し、取り組みを加速していきます。

※1:内閣官房「全国主要駅・繁華街エリアにおける人流の動向」対感染拡大前比【1/18～2/14の休日平均との比較】(2020年10月17日時点)

※2:三井住友信託銀行 調査月報 2020年7月号

「ウィズ・コロナにおける百貨店への処方箋 ～コロナ禍で浮き彫りとなった「買い物」ニーズ～」

#### (1)本実証の安心ゲートについて



#### <特長>

店舗などの出入口に設置することで、完全非接触で除菌、測温を行うとともに、混雑度を検知します。

#### <機能>

### 1. 手指や足元の除菌

スプレーによる手指の除菌に加え、微細なミスト状の電解除菌水を足元に噴射します。

### 2. 自動測温

カメラで顔の位置を検出し、その表面温度を測定します。

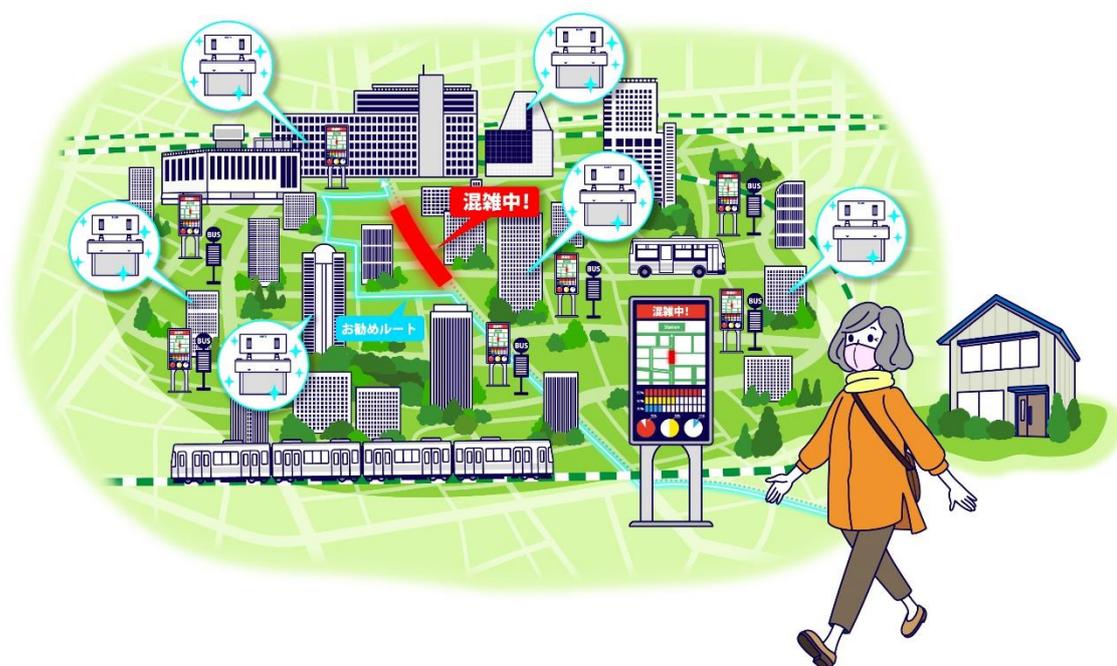
### 3. 混雑度検知

店舗や施設内の混雑状況を検知するとともに、来訪者の属性(年齢・性別など)の傾向を把握します。

実証期間:2020年10月30日～

設置場所:小田急百貨店新宿店 ①中央口/②モザイク通り口/③カリヨン北口 予定

## (2) パナソニックの安心ゲートソリューションについて



### <特長>

エリア一帯に設置した安心ゲートなどから、さまざまな施設の混雑状況データを収集。鉄道などの混雑情報とも組み合わせ、来訪者に密を回避するための場所、時間帯、ルートなどの情報を提供します。

### <機能>

#### 1. 混雑状況データ管理・統合

カメラ画像やGPSをもとに店舗や駅、列車・バスなど交通機関の混雑状況データを収集・統合することで、該当エリア全体の混雑状況を可視化します。

#### 2. 密回避情報の提供

来訪者の混雑回避行動を促すために、密を回避しながら移動ができる場所、時間帯、ルートなどの情報提供を行います。

### 3. 顧客サービス支援

店舗・施設に対して、来訪者の年齢、性別、滞在時間、店内回遊ルートなどの情報を可視化して提供することで、より良い売り場、サービス設計を支援します。

実証期間:2021 年春頃開始予定

以上